

2019年度 事業報告書 及び付属明細書

自 2019(平成31)年4月 1日
至 2020(令和 2)年3月31日

〒107-0052 東京都港区赤坂 1-2-2
公益財団法人 日 本 音 楽 財 団

目次

I 概要	1
II 公益目的事業「楽器の貸与事業を通じた音楽文化の振興・普及」.....	2
1. 楽器の保全	2
2. 楽器の貸与	2
3. 演奏会の開催	9
4. 音楽文化振興・普及のための助成	13
5. 広報活動	14
III 総務.....	18
1. 役員の異動.....	18
2. 理事会	18
3. 評議員会.....	18
4. 監事会	19
5. 登記事項.....	19
6. 主務大臣(内閣府)への届出等.....	19
7. 内閣府公益認定等委員会の立入検査	19
8. 外部監査の実施.....	19
9. 広報活動.....	20
10.事務局.....	21

[巻末別紙]

1. 理事・監事・評議員名簿	22
2. 委員名簿	23
3. 財団保有楽器の概要	24
4. 楽器名と被貸与者一覧	29

I 概 要

日本音楽財団は、1974年3月に音楽文化の振興と普及に寄与することを目的として設立され、2012年4月に公益財団法人に移行してからは、公益目的事業「楽器の貸与事業を通じた音楽文化の振興・普及」の下に、1.楽器の保全、2.楽器の貸与、3.演奏会の開催、4.音楽文化振興・普及のための助成という4つの柱を置いて事業を推進している。

当財団は2020年3月末現在、世界最高クラスの弦楽器を21挺(ストラディヴァリウス・ヴァイオリン15挺、チェロ3挺、ヴィオラ1挺、ガアルネリ・デル・ジェス・ヴァイオリン2挺)を保有している。本年度の事業は、日本財団の助成金を受けて下記のとおり実施した。

1. 楽器の保全

(1) 楽器の保守管理

当財団の指定楽器商で定期保守を実施した。保有楽器のうち1挺が、大規模修理が必要と判断され、指定楽器商にて実施した。

(2) 楽器への保険の付保

万が一の事故に備え、保有する21挺の弦楽器には、日本の保険会社2社に保険を付保した。

(3) ATA カルネ

楽器を国外へ持ち出す際には、必ず海外の税関で免税扱いの一時輸入通関ができるATAカルネを携帯させた。

(4) 保有楽器に関する故事来歴

昨年度は保有する弦楽器21挺について故事来歴等をまとめ、財団ホームページに楽器の写真と共に掲載したが、本年度はそれらを基に1冊の本にまとめる準備を行った。

2. 楽器の貸与

保有する21挺の楽器は、諮問機関である楽器貸与委員会での選考等を経て国際的な活躍を目指し将来性が見込まれる若手演奏家に無償で貸与した。楽器貸与委員会審議対象外として、ベルギー・エリザベート王妃国際音楽コンクールのヴァイオリン部門優勝者にストラディヴァリウス1708年製ヴァイオリン「ハギンス」を副賞として貸与しており、本年度は同コンクール開催年であったため優勝者への当該楽器の貸与を行った。

3. 演奏会の開催

本年度は、①演奏会の定期開催、②新しいファン層の拡大の2つの柱の下に10公演を予定したが、1公演が新型コロナウイルスの感染拡大の影響で開催中止となり9公演の実施となった。

4. 音楽文化振興・普及のための助成

事業運営委員会で5事業が採択されたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で2事業が中止、1事業は内容を一部変更して行われた。中止事業のうち1事業は、開催準備にかかった経費の一部補助として助成金を支払い4事業の支援となった。

II 公益目的事業

「楽器の貸与事業を通じた音楽文化の振興・普及」

1. 楽器の保全

(1) 楽器の保守管理

保有する 21 挺の楽器の修理、調整等については、ストラディヴァリウス等の名器の取扱いに慣れている楽器商を指定し実施している。各被貸与者には、年 4 回の当財団指定楽器商での定期保守を義務付け、修理費用は当財団が全て負担している。また、同じ目で楽器を見る必要があるという観点から年 4 回の内の 1 回は、英国在住の当財団楽器アドバイザーであるアンドリュー・ヒル(Andrew Hill)氏による楽器のチェックを受けている。楽器の修理・調整に関する記録は全て保管し、楽器の状態把握に努めている。

保有する楽器は製作後約 300 年が経過し、大規模な修理が必要な楽器が出てきており、これに対応するために特定費用準備資金(大規模楽器修理)を積立てている。本年度は 1 挺の楽器の大規模修理を実施し、特定費用準備資金(大規模楽器修理)を取り崩し対応した。

また、ワシントン条約・CITES (Convention on International Trade in Endangered Species of Wild Fauna and Flora: 絶滅の恐れのある野生動植物の国際間取引規制条約)の規制によりアメリカ合衆国での通関ができない事例があるため、すべての保有楽器に対して、当財団の指定楽器商よりワシントン条約・CITES 適用除外証明書(Declaration of Materials)を発行し、被貸与者には楽器と共に常に携帯させている。

(2) 楽器への保険の付保

楽器への保険については、楽器管理者として当財団が全額を支払っている。本年度も東京海上日動火災保険(株)と三井住友海上火災保険(株)の 2 社に楽器への保険を付保した。

(3) ATA カルネ*

被貸与者等が保有楽器を国外へ持ち出す際には、ATA カルネを必ず携帯させる。ATA カルネを使用して通関できない国への楽器の持ち込みを禁止している。

*「物品の一時輸入のための通関手帳に関する条約(ATA 条約)」に基づく一時免税通関手帳。

国外へ一時的に物品を持ち込む場合、税関で手軽に「免税扱いの一時輸入通関」ができるほか、外国への輸入税の支払や保証金が不要となる。

(4) 保有楽器に関する故事来歴の取りまとめ

昨年度は、保有楽器 21 挺の故事来歴等を楽器の写真と共にホームページに掲載したが、本年度はそれらの資料を基に専門家等の寄稿を依頼するとともに、印刷物等に掲載しても見劣りしない写真データを得るため楽器の写真撮影を実施し、1 冊の本にまとめるための準備を行った。

2. 楽器の貸与

当財団は、保有する弦楽器を国際的な活躍を目指し将来性が見込まれる若手演奏家に国籍を問わず無償で貸与する楽器貸与事業を実施している。

楽器の貸与については、財団のホームページ等で応募方法を公表し、毎年貸与申請を受け付けている。楽器の被貸与者の選考は、欧・米・アジアの有識者で構成される諮問機関である楽器貸与委員会で毎年行っている。楽器貸与委員会の審議対象外として、1997 年よりベルギー・エリザベート王妃国際音楽コンクールのヴァイオリン部門優勝者に

次期コンクールまでの期間、ストラディヴァリウス 1708 年製ヴァイオリン「ハギンス」を副賞として貸与している。本年度は同コンクールが開催され、優勝者への貸与を行った。また、デビュー公演、周年記念公演、CD レコーディング等の具体的な演奏活動の目的がある演奏家への満 1 年以内の貸与も行った。

貸与区分、貸与期間、年齢制限などの申請条件等の詳細については、2018 年度に改正し、下記のとおり実施している。

なお、本年度より申請者から提出された書類及び動画の事前審査を実施し、楽器貸与委員会での討議を経て、新規の被貸与者を選定した。また、貸与期間の上限 7 年を超える被貸与者(旧長期貸与区分)については、演奏活動に支障が出ないように協議の上、楽器の返却時期を順次決定している。

区分	貸与期間	貸与楽器配分の目安	申請条件	貸与決定方法
A	満7年以内	保有楽器数の 70%	申請年の 9 月 1 日時点で 35 歳以下の者 (クアルテットは、4 名の平均が 40 歳以下)	楽器貸与委員会での選考を経て会長決裁
B	満3年以内	保有楽器数の 15%	日本を拠点に演奏活動している者 申請年の 9 月 1 日時点で 35 歳以下の者 (クアルテットは、4 名の平均が 40 歳以下)	
C	満1年以内	保有楽器数の 10%	具体的な演奏活動の目的がある者 (例:デビュー公演・周年記念公演・レコーディング・コンクール等)	会長決裁
D	次期コンクール開催時まで	保有楽器数の 5%	エリザベート王妃国際音楽コンクールヴァイオリン部門優勝者	

(1) 楽器貸与委員会

本年度は、下記のとおり実施した。

- 開催日 2019 年 6 月 18 日(火) 14:00~16:30
 場所 国立京都国際会館(京都府京都市左京区宝ヶ池)
 楽器貸与委員 巻末別紙 2 のとおり
 財団保有楽器 巻末別紙 3 のとおり
 審議事項 ①現在の貸与状況及び貸与更新について
 ②新規貸与申請について

会議結果

- ① 楽器貸与規程改正前に貸与を開始した下記の被貸与者(11 名)については、各演奏家と協議の上、随時楽器の返還時期を調整することが承認された。

Veronika Eberle(vn)、Suyoen Kim(vn)、Svetlin Roussev(vn)、諏訪内晶子(vn)、Ray Chen(vn)、Arabella Miho Steinbacher(vn)、五嶋龍(vn)、Yuki Manuela Janke(vn)、Sergey Khachatryan(vn)、Benjamin Beilman(vn)、Pablo Ferrández(vc)

- ② 新規貸与(クアルテット 1 組、ヴァイオリン 1 名)

クアルテット 11 組、ヴァイオリン 14 名、チェロ 5 名 計 63 名より楽器貸与申請があつたが、審議の結果、Goldmund Quartet(ゴルトムント・クアルテット)に 4 年、Angelo Xiang Yu(アンジェロ・シャン・ユー)(ヴァイオリン)に 7 年貸与することが合意された。チェロの申請者(貸与区分 A)は、基準に達していないとの理由により貸与しないことが決議された。

(2) 楽器の貸与状況

本年度における保有楽器 21 挺の貸与状況は下記及び巻末別紙 4 のとおり。各被貸与者から財団へ報告された演奏会数は、年間合計 647 回、聴衆合計約 686,200 名となっている。

①～④ Stradivarius “Paganini Quartet”

1) 被貸与団体

Kuss Quartet

①1680 年製 Violin Oliver Wille(ドイツ・ハンブルク在住)

②1727 年製 Violin Jana Kuss-Nickel(ドイツ・ハンブルク在住)

③1731 年製 Viola William Lawrence Coleman(ドイツ・ベルリン在住)

④1736 年製 Cello Mikayel Hakhanazaryan(ドイツ・ベルリン在住)

貸与推薦者

Valentin Erben(チェリスト;アルバン・ベルク弦楽四重奏団)

Steven Isserlis(チェリスト)

貸与期間

2019 年 4 月 15 日～2019 年 6 月 17 日 貸与区分 C

サントリーホールチェンバーミュージックガーデンでの演奏及び CD 録音のため

当該楽器を使用しての演奏 合計 18 回(聴衆約 7,500 名)

2) 被貸与団体

Goldmund Quartet

①1680 年製 Violin Pinchas Adt(ドイツ・ミュンヘン在住)

②1727 年製 Violin Florian Schötz(ドイツ・ヴュルツブルク在住)

③1731 年製 Viola Christoph Vandory(ドイツ・ミュンヘン在住)

④1736 年製 Cello Raphael Paratore(ドイツ・ミュンヘン在住)

貸与推薦者

Guenter Pichler(ヴァイオリニスト;アルバン・ベルク四重奏団)

Christoph Poppen(指揮者)

当該楽器を使用しての演奏 合計 20 回(聴衆約 8,400 名)

本年度の楽器貸与委員会で貸与区分 A の被貸与団体として 4 年の貸与が合意され、2019 年 9 月 23 日(うち 3 名は 2019 年 10 月 23 日)より当該楽器の貸与を開始した。2023 年 9 月 22 日(うち 3 名は 2023 年 10 月 22 日)まで(貸与期間 4 年)貸与契約を結んだ。

② Stradivarius 1727 年製 Violin “Paganini”

Stradivarius 1702 年製 Violin “Lord Newlands”の写真撮影のため、当該楽器を貸与している Suyoen Kim と相談の上、同氏の来日公演のため下記期間、代替楽器として貸与した。

貸与期間 2019 年 8 月 14 日～2019 年 8 月 19 日

⑤ Stradivarius 1700 年製 Violin “Dragonetti”

被貸与者

Veronika Eberle(ドイツ・ベルリン在住)

貸与推薦者

Ana Chumachenco(ヴァイオリニスト、ミュンヘン音楽大学教授)

Sir Simon Rattle(指揮者)

内田光子(ピアニスト)

当該楽器を使用しての演奏 合計 44 回(聴衆約 61,700 名)

2009 年 5 月 11 日より短期貸与を開始し、2009 年度の楽器貸与委員会にて長期の被貸与者として承認された。2020 年 8 月 31 日まで(貸与期間 11 年 4 ヶ月)貸与契約を結んだ。

⑥ Stradivarius 1702 年製 Violin “Lord Newlands”

被貸与者 Suyoen Kim(ドイツ・ベルリン在住)
貸与推薦者 Ana Chumachenco(ヴァイオリニスト、ミュンヘン音楽大学教授)
Jan Latham-Koenig(指揮者)

当該楽器を使用しての演奏 合計 74 回(聴衆約 72,900 名)

2014 年度の楽器貸与委員会にて長期の被貸与者として承認され、2015 年 1 月 20 日より貸与を開始した。2023 年 8 月 31 日まで(貸与期間 8 年 8 ヶ月)貸与契約を結んだ。

⑦ Stradivarius 1708 年製 Violin “Huggins”

被貸与者 Stella Chen(アメリカ・ニューヨーク在住)

当該楽器を使用しての演奏 合計 36 回(聴衆約 19,400 名)

2019 年ベルギー・エリザベート王妃国際音楽コンクールの優勝者であり、副賞として 2019 年 5 月 28 日より次期コンクール開催 2023 年 4 月までの約 4 年間の貸与契約を結んだ。

⑧ Stradivarius 1709 年製 Violin “Engleman”

被貸与者 Benjamin Beilman(アメリカ・ニューヨーク在住)

貸与推薦者 Kyung-Wha Chung(ヴァイオリニスト)

Jean-Philippe Rolland(ワーナークラシック副社長)

当該楽器を使用しての演奏 合計 57 回(聴衆約 58,200 名)

2016 年度の楽器貸与委員会にて長期の被貸与者として承認され、2016 年 12 月 7 日より貸与を開始した。2023 年 12 月 6 日まで(貸与期間 7 年)貸与契約を結んだ。当財団の演奏会(後述)に出演した。

⑨ Stradivarius 1710 年製 Violin “Camposelice”

被貸与者 Svetlin Roussev(スイス・ジュネーブ在住)

貸与推薦者 Myung-Whun Chung(指揮者)

Kyung-Wha Chung(ヴァイオリニスト)

当該楽器を使用しての演奏 合計 64 回(聴衆約 57,000 名)

2012 年 1 月 15 日より Stradivarius 1715 年製 Violin “Joachim”を短期貸与したが、2012 年 2 月 8 日に当該楽器に変更した。2012 年度の楽器貸与委員会にて長期の被貸与者として承認された。2021 年 8 月 31 日まで(貸与期間 9 年 8 ヶ月)貸与契約を結んだ。当財団の演奏会(後述)に出演を予定していたが新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となった。

⑩ Stradivarius 1714 年製 Violin “Dolphin”

被貸与者 諏訪内晶子(フランス・パリ在住)

貸与推薦者 Charles Dutoit(指揮者)

徳永二男(ヴァイオリニスト)

当該楽器を使用しての演奏 合計 37 回(聴衆約 43,700 名)

2000 年 8 月 11 日より短期貸与を開始し、2001 年度の楽器貸与委員会にて長期の被貸与者として承認された。2020 年 12 月 31 日まで(貸与期間 20 年 5 ヶ月)貸与契約を結んだ。

⑪ Stradivarius 1715 年製 Violin “Joachim”

- 1) 被貸与者 Ray Chen(アメリカ・フィラデルフィア在住)
同氏は 2009 年ベルギー・エリザベート王妃国際音楽コンクール優勝者であり、副賞として 2009 年 6 月 2 日から 2010 年 9 月 8 日までの間(貸与期間 1 年 3 ヶ月) Stradivarius 1708 年製 Violin “Huggins”を貸与したが、他団体からも楽器貸与を受けていたため、その期間は楽器を返却した。その後、他団体からの貸与が終了したので、2012 年 4 月 11 日より Stradivarius 1702 年製 Violin “Lord Newlands”(貸与期間 2 年 2 ヶ月)、2014 年 6 月 19 日に当該楽器に変更、その後 2019 年 10 月 23 日付(貸与期間計 5 年 4 ヶ月、通算貸与期間計 8 年 9 ヶ月)で Stradivarius 1735 年製 Violin “Samazeuilh”に変更した。
- 2) 被貸与者 Angelo Xiang Yu(アメリカ・ボストン在住)
貸与推薦者 Mirian Fried(ヴァイオリニスト)
Jeffrey Kahane(指揮者、サラソータ音楽祭音楽監督)
当該楽器を使用しての演奏 合計 13 回(聴衆約 20,600 名)
本年度の楽器貸与委員会で貸与区分 A の被貸与者として 7 年の貸与が合意され、2019 年 11 月 1 日より当該楽器を貸与した。2026 年 10 月 31 日まで(貸与期間 7 年)貸与契約を結んだ。
- ⑫ Stradivarius 1716 年製 Violin “Booth”
被貸与者 Arabella Miho Steinbacher (オーストリア・ウィーン在住)
貸与推薦者 Ana Chumachenco (ヴァイオリニスト、ミュンヘン音楽大学教授)
Anne-Sophie Mutter(ヴァイオリニスト)
当該楽器を使用しての演奏 合計 31 回(聴衆約 40,900 名)
2005 年 5 月 6 日より Stradivarius 1736 年製 Violin “Muntz”を短期貸与していたが、2005 年度の楽器貸与委員会にて長期の被貸与者として承認された。2006 年 9 月 4 日より当該楽器に変更した。2020 年 12 月 31 日まで(貸与期間 14 年 4 ヶ月、通算期間計 15 年 8 ヶ月)貸与契約を結んだ。
- ⑬ Stradivarius 1717 年製 Violin “Sasserno”
被貸与者 Ji Young Lim(ドイツ・ベルリン在住)
当該楽器を使用しての演奏 合計 22 回(聴衆約 18,900 名)
同氏は 2015 年ベルギー・エリザベート王妃国際音楽コンクールの優勝者であり、副賞として Stradivarius 1708 年製 Violin “Huggins”を 2015 年 6 月 2 日より貸与(3 年 10 ヶ月)していたが、引き続きの貸与の申請があり、2018 年度の楽器貸与委員会で貸与区分 A の被貸与者として合意された。当該楽器を 2019 年 3 月 28 日より 2022 年 6 月 1 日まで(貸与期間 3 年 2 ヶ月、通算期間計 7 年)貸与契約を結んだ。当財団の演奏会(後述)に出演した。
- ⑭ Stradivarius 1722 年製 Violin “Jupiter”
被貸与者 五嶋 龍(アメリカ・ニューヨーク在住)
貸与推薦者 今井信子(ヴァイオリニスト)
Michael Dussek(ピアニスト)
当該楽器を使用しての演奏 合計 12 回(聴衆約 29,800 名)
2013 年 3 月 7 日より短期貸与を開始し、2013 年度の楽器貸与委員会にて長期の被貸与者として承認された。2020 年 8 月 31 日まで(貸与期間 7 年 6 ヶ月)貸与契約を結んだ。

⑮ Stradivarius 1725 年製 Violin “Wilhelmj”

- 1) 被貸与者 加野景子(アメリカ・ニューヨーク在住)
貸与推薦者 Glenn Dicterow(ヴァイオリニスト)
Eugene Drucker(エマーソン弦楽四重奏団ヴァイオリニスト)
貸与期間 2018年11月27日～2019年11月26日 貸与区分 C
CD録音及び動画収録のため

当該楽器を使用しての演奏 合計12回(聴衆約5,600名)

- 2) 被貸与者 大谷康子(東京在住)
貸与推薦者 広上淳一(指揮者)
福本ともみ(サントリーホール支配人)
貸与期間 2019年11月28日～2020年1月31日 事業のため演奏委託
2020年2月1日～2021年1月31日 貸与区分 C

当該楽器を使用しての演奏 合計17回(聴衆約10,100名)

当財団の事業協力のため、青少年のためのヴァイオリンコンサート(後述)に2回出演した。また、同氏の演奏活動45周年記念演奏会のため、2020年2月1日より貸与区分C(1年)で貸与契約を締結した。

⑯ Stradivarius 1735 年製 Violin “Samazeuilh”

- 1) 被貸与者 竹澤恭子(フランス・パリ在住)
貸与推薦者 Charles Dutoit(指揮者)
David Zinman(指揮者)

貸与期間 2018年8月27日～2019年7月16日 貸与区分 C

当該楽器を使用しての演奏 合計8回(聴衆約5,400名)

同氏には2005年3月7日から2010年3月5日までの約5年間 Stradivarius 1710年製 Violin “Camposelice”を貸与していた。今回は、デビュー30周年記念企画演奏会のために当該楽器を貸与した。

同氏への貸与終了後、当該楽器は2019年7月より2020年2月28日まで大規模修理を実施した。

- 2) 被貸与者 Ray Chen(アメリカ・フィラデルフィア在住)

同氏は2009年ベルギー・エリザベート王妃国際音楽コンクール優勝者であり、副賞として2009年6月2日から2010年9月8日までの間(貸与期間1年3ヶ月) Stradivarius 1708年製 Violin “Huggins”を貸与したが、他団体からも楽器貸与を受けていたため、その期間は楽器を返却した。その後、他団体からの貸与が終了したので、2012年4月11日より Stradivarius 1702年製 Violin “Lord Newlands”(貸与期間2年2ヶ月)、2014年6月19日より Stradivarius 1715年製 Violin “Joahim”(貸与期間5年4ヶ月)。2019年10月23日より当該楽器の貸与契約を2022年8月31日まで(貸与期間計3年10ヶ月、通算貸与期間計11年7ヶ月)締結した。

⑰ Stradivarius 1736 年製 Violin “Muntz”

- 被貸与者 Yuki Manuela Janke(ドイツ・ハゼルバツハタール在住)
貸与推薦者 外山雄三(指揮者、作曲家)
Julia Fischer(ヴァイオリニスト、フランクフルト音楽大学教授)

当該楽器を使用しての演奏 合計38回(聴衆約30,400名)

2007年度の楽器貸与委員会にて長期の被貸与者として承認され、2007年11月

3日より貸与を開始した。2020年8月31日まで(貸与期間12年10ヶ月)貸与契約を結んだ。当財団の演奏会(後述)に出演した。

⑱ Stradivarius 1696年製 Cello “Lord Aylesford”

被貸与者 Pablo Ferrández(スペイン・トレドネス在住)

貸与推薦者 Frans Helmerson(チェリスト)

Luis Claret(チェリスト)

Paloma O'Shea(ソフィア王妃高等音楽院学長)

当該楽器を使用しての演奏 合計67回(聴衆約107,900名)

2013年度の楽器貸与委員会にて長期の被貸与者として承認され、2014年1月17日より貸与を開始した。2023年7月31日まで(貸与期間9年7ヶ月)貸与契約を結んだ。当財団の演奏会(後述)に出演した。

⑲ Stradivarius 1730年製 Cello “Feuermann”

当該楽器は、本年度の楽器貸与委員会に貸与先を審議したが、該当者がなかったため、短期(区分C)で貸与申請を募集し、下記の演奏家に貸与した。

被貸与者 Camille Thomas(フランス・パリ在住)

貸与推薦者 Steven Isserlis(チェリスト)

Stephane Deneve(指揮者)

貸与期間 2019年9月24日～2020年9月23日 貸与区分C

CD録音のため

当該楽器を使用しての演奏 合計29回(聴衆約22,400名)

⑳ Guarneri del Gesu 1736年製 Violin “Muntz”

1) 被貸与者 渡辺玲子(東京在住)

貸与推薦者 原田幸一郎(ヴァイオリニスト)

徳永二男(ヴァイオリニスト)

貸与期間 2018年10月1日～2019年7月5日 貸与区分C

CD録音のため

当該楽器を使用しての演奏 合計6回(聴衆約2,700名)

2) 被貸与者 María Dueñas(オーストリア・ウィーン在住)

貸与推薦者 Boris Kuschner(ウィーン、グラーツ音楽教授)

Julian Rachlin(ヴァイオリニスト)

貸与期間 2019年7月12日～2020年7月11日 貸与区分C

デビューコンサート及びCD録音のため

当該楽器を使用しての演奏 合計17回(聴衆約24,600名)

㉑ Guarneri del Gesu 1740年製 Violin “Ysaye”

被貸与者 Sergey Khachatryan(ドイツ・エッシュボルン在住)

当該楽器を使用しての演奏 合計25回(聴衆約38,100名)

同氏は2005年ベルギー・エリザベート王妃国際音楽コンクール優勝者であり、2005年5月31日より2009年4月7日までStradivarius 1708年製Violin “Huggins”を貸与(3年10ヶ月)した。引き続きの貸与の申請があり、Stradivarius 1702年製Violin “Lord Newlands”を2009年4月7日より貸与。その後、2010年10月27日より当該楽器へ変更し2020年12月31日まで(貸与期間10年2ヶ月、通算貸与期間

15年7ヶ月)貸与契約を結んだ。当財団の演奏会(後述)に出演した。

3. 演奏会の開催

本年度は10公演を予定したが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、1公演が中止となり9公演の実施となった。そのうち4公演については、入場券を一般販売しチケット収入の全額10,396,400円を各開催地の福祉団体等に寄付した。

演奏会の実録CDを作成し、関係者へ配布するとともにクラシック音楽専門チャンネル等で放送し事業の周知に努めた。

① 演奏会の定期開催(8公演)

演奏会の集客力を高めるための有効な方法の一つとして、演奏会の定期開催を2017年度より開始した。毎年同じ会場、同じ時期に定期的に行われ、クラシック音楽ファンに予め開催の告知することで集客力が期待できる。本年度も当財団の認知度とブランド力を定着させるとともに、開催地における音楽文化の振興・普及に努めた。

(1) 浦安市との共同コンサート

首都圏での演奏会開催を目指す一環として、2017年度より浦安市との共同事業として開始した。2016年12月に浦安市との協定を締結し、双方が保有する音楽資源を有効に活用し、演奏会を定期的に継続して開催できる環境を整えた。

名 称	セルゲイ・ハチャトゥリアン ヴァイオリン・リサイタル 浦安市・日本音楽財団 ストラディヴァリウス・シリーズ Vol.3
日 程	2019年4月20日(土) 14:00開演
会 場	浦安音楽ホール(千葉県浦安市) (303席)
主 催	(公財)日本音楽財団、浦安市
共 催	浦安音楽ホール
助 成	(公財)日本財団
出 演	Sergey khachatryan Guarneri del Gesu 1740年製 Violin "Ysaye"使用 Lusine Khachatryan ピアノ
曲 目	モーツァルト:ヴァイオリン・ソナタ第40番 変ロ長調 K.454 プロコフィエフ:ヴァイオリン・ソナタ第2番 ニ長調作品94bis フランク:ヴァイオリン・ソナタ イ長調
入 場 料	市民優先4,000円、一般5,000円
来場者数	240名(うち招待19名)
寄 付 額	1,082,000円(チケット売上全額) (チケット売上:市民優先4,000円×78枚、一般5,000円×154枚)
寄 付 先	浦安市の「浦安市文化芸術振興基金」に積立てられ市民の文化芸術活動の普及振興に使われる。

(2)～(4)ストラディヴァリウス・コンサート2019 Encounter with Stradivari 2019

10挺以上の保有楽器と演奏家が一堂に会する演奏会の開催は4年ごとであるが、その間の年に2名程度のソリストによるコンサートを定期的に行われることにした。本年度は下記のとおり、3都市で開催した。当初出演を予定していたVeronika Eberleが出産が近いことから出演不可となり、代役としてJi Young Limが出演した。

出演者	Ji Young Lim	Stradivarius 1700 年製 Violin “Dragonetti”使用 Stradivarius 1717 年製 Violin “Sasserno”使用
	Benjamin Beilman	Stradivarius 1709 年製 Violin “Engleman”使用
	萩原麻未	ピアノ
曲 目	ベートーヴェン: ヴァイオリン・ソナタ 第 5 番 ヘ長調 作品 24「春」 バルトーク: 2 つのヴァイオリンのための二重奏曲 Sz.98 から第 35 番、 16 番、22 番、26 番、42 番、43 番、44 番、36 番 チャイコフスキー: 「なつかしい土地の思い出」 作品 42 から「メロディ」 ブラームス: ヴァイオリン・ソナタ 第 2 番 イ長調 作品 100 ショスタコーヴィチ: 2 つのヴァイオリンとピアノのための 5 つの小品	

(2) 福岡公演

日 程	2019 年 10 月 29 日 (火) 19:00 開演
会 場	福岡シンフォニーホール (1,867 席)
主 催	日本音楽財団、西日本新聞社
共 催	(公財) アクロス福岡
助 成	日本財団
協 力	SOS 子どもの村 JAPAN、福岡市立こども病院
入 場 料	S 席 5,000 円、A 席 4,000 円、B 席 3,000 円
来場者数	784 名 (うち招待 28 名)
寄 付 額	3,726,600 円 (チケット売上の全額)
寄 付 先	SOS 子どもの村 JAPAN (3,085,625 円)、 福岡市立こども病院 (640,975 円)

(3) 大阪公演

日 程	2019 年 10 月 30 日 (水) 19:00 開演
会 場	いずみホール (821 席)
主 催	日本音楽財団
共 催	いずみホール (一般財団法人住友生命福祉文化財団)
助 成	日本財団
協 力	京都大学 iPS 細胞研究所
入 場 料	S 席 5,000 円、A 席 4,000 円
来場者数	755 名 (うち招待 11 名)
寄 付 額	3,855,300 円 (チケット売上全額)
寄 付 先	京都大学 iPS 細胞研究所

(4) 東京公演

日 程	2019 年 10 月 31 日 (木) 19:00 開演
会 場	サントリーホール ブルーローズ (小ホール) (380 席)
主 催	日本音楽財団
共 催	サントリーホール
協 力	国立成育医療研究センターもみじの家
助 成	日本財団
入 場 料	全席 5,000 円
来場者数	340 名 (うち招待 22 名)

寄付額 1,732,500 円(チケット売上全額)
寄付先 国立成育医療研究センターもみじの家

(5)～(8)名古屋フィルハーモニー交響楽団・日本音楽財団共同事業
日本音楽財団ストラディヴァリウス・シリーズ 7～9

東海地方を代表するオーケストラである名古屋フィルハーモニー交響楽団との共同で定期的な演奏会を開催することで、東海地方での当財団の活動周知を推進し、音楽文化の振興普及に努めた。2017年度より開始し3年目となる本事業では、当財団被貸与者が毎年同時期に「ストラディヴァリウス月間」と称し、数ヶ月にわたり4公演を名古屋フィルハーモニー交響楽団と共演を予定したが、1公演が新型コロナウイルスの感染拡大の影響で開催中止となった。当財団は、ストラディヴァリウス被貸与者の出演料と旅費等を経費負担した。本年度は下記のとおり3公演を実施し、198名の学生を招待した。

(5)(6)名 称 日本音楽財団ストラディヴァリウス・シリーズ 7「ロード・アイレスフォード」
名フィル 475 回定期演奏会 畢生の傑作<マスターピース>シリーズ

日 程 2020年1月17日(金) 18:45 開演
2020年1月18日(土) 16:00 開演
会 場 愛知県芸術劇場コンサートホール(愛知県名古屋市)(1,800席)
主 催 (公財)名古屋フィルハーモニー交響楽団
特別協力 (公財)日本音楽財団
助 成 (公財)日本財団
文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)・
独立行政法人日本芸術文化振興会
後 援 愛知県、愛知県教育委員会、名古屋市、名古屋市教育委員会、
(公財)名古屋市文化振興事業団、朝日新聞社、メ〜テレ
指 揮 沼尻竜典
出 演 Pablo Ferrández Stradivarius 1696年製 Cello “Lord Aylesford”使用
曲 目 シューマン:チェロ協奏曲イ短調 作品129
ワーグナー:楽劇『ニーベルングの指輪』より「沼尻版」
来場者数 1,248名 うち学生招待66名(1/17)
1,505名 うち学生招待97名(1/18)

(7)名 称 日本音楽財団ストラディヴァリウス・シリーズ 8「ムンツ」
名フィル豊田市コンサートホールシリーズ Vol.8

日 程 2020年2月1日(土) 16:00 開演
会 場 豊田市コンサートホール(愛知県豊田市)(1,004席)
主 催 (公財)名古屋フィルハーモニー交響楽団
共 催 (公財)豊田市文化振興財団、豊田市、豊田市教育委員会
特別協力 (公財)日本音楽財団
助 成 (公財)日本財団
指 揮 大植英次
出 演 Yuki Manuela Janke Stradivarius 1736年製 Violin “Muntz”使用
豊田市ジュニアオーケストラ(一部共演)
曲 目 J.シュトラウスII世:喜歌劇『こうもり』序曲
(共演豊田市ジュニアオーケストラ)

シベリウス:ヴァイオリン協奏曲 ニ短調 作品 47

ドヴォルザーク:交響曲第 9 番 ホ短調 作品 95(B.178)『新世界より』

来場者数 936 名 うち学生招待 35 名

- (8) 名 称 日本音楽財団ストラディヴァリウス・シリーズ 9 「カンポセリーチェ」
名フィル平日午後のオーケストラ Vol.5

※新型コロナウイルスの感染拡大の影響で開催が中止となった。

日 程 2020 年 3 月 4 日(水) 14:00 開演

会 場 愛知県芸術劇場コンサートホール(愛知県名古屋市)(1,800 席)

主 催 (公財)名古屋フィルハーモニー交響楽団

特別協力 (公財)日本音楽財団

助 成 (公財)日本財団

文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)・
独立行政法人日本芸術文化振興会

後 援 愛知県、愛知県教育委員会、名古屋市、名古屋市教育委員会、
(公財)名古屋市文化振興事業団、中日新聞社、東海テレビ放送

指 揮 Beatrice Benezi(ベアトリーチェ・ヴェネツィ)

出 演 Svetlin Roussev Stradivarius 1710 年製 Violin “Camposelice”使用

② 新しいファン層の拡大

(9)～(10)「青少年のためのレクチャーコンサート」

クラシック音楽を聴く機会が少ない学生を対象に、被貸与者による聴きどころの説明を交えたコンサートを2011年より実施している。開催地の行政機関との連携により若年齢層におけるクラシック音楽ファンの拡大が推進できた。下記 2 公演に出演を予定していた Arabella Miho Steinbacher が出産のため出演不可となったため、特例として過去の被貸与者である大谷康子に楽器を貸与し、演奏委託した。

(9) 北九州市におけるレクチャーコンサート

名 称 青少年のためのヴァイオリンコンサート

日 程 2019 年 12 月 5 日(木) 14:15 開演

会 場 北九州市立響ホール(福岡県北九州市) (700 席)

主 催 (公財)日本音楽財団、北九州市、
(公財)北九州市芸術文化振興財団

共 催 北九州市教育委員会

助 成 (公財)日本財団

出 演 大谷康子 Stradivarius 1725 年製 Violin “Wilhelmj”使用

佐藤卓史 ピアノ

曲 目 クライスラー:愛の喜び、愛の悲しみ

ヴィヴァルディ:ヴァイオリン協奏曲集作品 8「四季」から「春」第 1 楽章

ベートーヴェン:ヴァイオリン・ソナタ 第 5 番

へ長調 作品 24 「春」から第 1 楽章

バッハ:G 線上のアリア

ブラームス:ハンガリー舞曲 第 5 番

葉加瀬太郎:情熱大陸のテーマ

ジャン・アラール:「椿姫ファンタジー」作品 38 から「乾杯の歌」

サラサーテ:ツィゴイネルワイゼン
 モンティ:チャルダッシュ(アンコール)
 対 象 中学生
 来場者数 509名(招待)
 CD配布 実録CDを作成し出席した学生等に配布した。

(10) 浦安市におけるレクチャーコンサート

浦安市と当財団の協定締結(2016年12月)に基づき開催。本年度は3回目となる。

名 称 青少年のためのヴァイオリンコンサート
 日 程 2020年1月25日(土) 14:00開演
 会 場 浦安市文化会館小ホール(千葉県浦安市) (355席)
 共 催 J:COM 浦安音楽ホール、浦安市文化会館
 主 催 浦安市、浦安市教育委員会、(公財)日本音楽財団
 助 成 (公財)日本財団
 出 演 大谷康子 Stradivarius 1725年製 Violin “Wilhelmj”使用
 佐藤卓史 ピアノ
 曲 目 上記北九州市でのヴァイオリンコンサートと同じ
 対 象 小中学生とその保護者
 来場者数 215名(招待)
 CD配布 出席した学生等に公演と同様のプログラムの実録CDを配布した。

4. 音楽文化振興・普及のための助成

若手弦楽奏者育成を軸とする事業を対象として公募し、有識者で構成される事業運営委員会(事業運営委員は、巻末別紙2のとおり。)が、若手弦楽器奏者育成、公益性、運営力、創造性、緊要度の5つの要件から総合的に判断して助成先を選定した。第1回目の委員会は、年度初めに実施される事業にも対応できるように、前年度中に開催、結果通知を行った。第2回目の委員会では2020年度助成の対象事業について意見交換を行った。

第1回事業運営委員会 2019年3月19日(火) 14:00~16:00
 第2回事業運営委員会 2019年9月6日(金) 14:00~16:00

第1回事業運営委員会で採択された下記の5事業が助成予定であったが、3事業が新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、うち2事業は開催が中止となった。中止となった2事業のうち1事業は準備までにかかった経費の一部補助として支払書類の確認が取れたため、特例で助成した。2019年中に開催した2事業については当初期待したとおりの事業成果、妥当な支出内容で事業を完了した。

本年度の助成額 4事業 計 3,974,738円

(1) Music Dialogue ディスカバリー・シリーズ 2019-20(第1回~4回)

実施団体 一般社団法人 Music Dialogue

日程・会場 第1回 2019年5月21日(火)公開リハーサル、24日(金)本番
 第2回 2019年9月17日(火)公開リハーサル、20日(金)本番
 第3回 2019年12月17日(火)公開リ。公開ハーサル、20日(金)本番
 第4回 2020年3月3日(火)公開リハーサル、6日(金)本番
 ※第4回目は新型コロナウイルスの感染拡大影響により公開リハーサル

は開催せず、本番は聴衆を入れず収録のみを行い、後日動画配信を行った。

助成額 1,000,000 円

(2) ARTE TOKYO 第 9 回定期公演

実施団体 特定非営利活動法人 ARTE MANDOLINISTICA

日程 2019 年 6 月 16 日(土)

会場 第一生命ホール(東京)

助成額 500,000 円

(3) 東京ジュニアオーケストラソサエティ第 20 回定期演奏会

実施団体 特定非営利活動法人東京ジュニアオーケストラソサエティ

日程 2019 年 8 月 18 日(日)

会場 文京シビックセンター大ホール(東京)

助成額 1,500,000 円

(4) MITSUKO UCHIDA AND MCO AT CARNEGIE HALL

内田光子と MCO@カーネギーホール

※新型コロナウイルスの感染拡大の影響により開催を中止したが、準備までにかかった経費の一部補助として 8,290 ユーロ相当(974,738 円)を特例で支援した。

実施団体 Mahler Chamber Orchestra e. V.

日程 2020 年 3 月 28 日(木)

会場 カーネギー・ホール(アメリカ・ニューヨーク)

(5) 岡山市ジュニアオーケストラ創立 55 周年記念演奏会第 22 回スプリングコンサート

実施団体 岡山市ジュニアオーケストラ

※新型コロナウイルスの感染拡大の影響により開催を中止した。

日程 2020 年 3 月 29 日(日)

会場 岡山シンフォニーホール(岡山)

5. 広報活動

当財団の活動を広く周知するため、以下のような広報活動を展開している。

- (1) 財団パンフレット(日本語、英語併記)を作成し、関係する演奏会の会場などで広く一般に配布している。
- (2) ホームページや SNS(日本語、英語)にて、財団の事業活動全般について紹介している。
- (3) 財団主催演奏会の CD を作成し、国内外の音楽関係機関、オピニオンリーダー等に配布している。本年度作成した CD は、以下のとおり。
 - ① Sergey Khachatryan ヴァイオリン・リサイタル CD (2019 年 4 月 20 日浦安収録)
 - ② Encouter with Stradivari 2019 CD (2019 年 10 月 31 日東京収録)
 - ③ 青少年のためのヴァイオリンコンサート CD (2019 年 12 月 5 日北九州収録)
 - ④ 日本音楽財団、名古屋フィルハーモニー交響楽団共同コンサート CD
(2020 年 1 月 17、18 日名古屋、2 月 1 日豊田収録)
- (4) 楽器被貸与者との間で締結している貸与契約書に以下の内容を明記し、当財団の楽器貸与事業の周知・広報に協力を得ている。
 - ① 被貸与者は、報道機関のインタビューや演奏会プログラムにおいて、貸与楽器の名称並びに当該楽器が当財団から貸与されていること的事实を周知・広報する。
 - ② 貸与楽器による演奏が、CD、動画等の形で制作されるときは、被貸与者は、

貸与楽器の名称並びに当該楽器が当財団から貸与されていることの事実を当該制作物に明確に表示する。

- ③ 被貸与者は、年に1度、3月末日までに前年4月からの演奏会(開催日、開催場所、演奏曲目、入場者数等)並びにCD、DVD等制作に関する活動内容報告書を当財団に提出する。

楽器被貸与者が本年度中にリリースしたCD等は以下のとおりである。

Kuss Quartet	Stradivarius “Paganini Quartet”使用 CD “The String Quartets Beethoven”
Svetlin Roussev	Stradivarius 1710年製 Violin “Camposelice”使用 CD “Midnight Bells”
加野景子	Stradivarius 1725年製 Violin “Wilhelmj”使用 CD “A Manhattan Story II～Spring～”
渡辺玲子	Guaneri del Gesu 1736年製 Violin “Muntz”使用 CD “poetry”
Camille Thomas	Stradivarius 1730年製 Cello “Feuerumann”使用 CD “VOICE OF HOPE”

- (5) 衛星デジタルラジオ局並びに衛星デジタルテレビの協力を得て当財団の主催演奏会の実録CD並びに動画を放送し、不特定多数の方々にストラディヴァリウスの華麗な響きを楽しんでもらい、楽器貸与事業の周知・広報を図っている。特に普段ストラディヴァリウスの演奏に触れる機会のない地方のクラシック音楽ファンには、大変喜ばれているとの報告を受けている。2019年度における放送内容は下記のとおりである。

- ① 衛星デジタルラジオ MUSIC BIRD THE CLASSIC(121ch)

従来から放送協力していた当該ラジオ放送は、当財団専用の番組「ストラディヴァリウス・コンサート」として、2019年7月よりスタートした。本物に近いストラディヴァリウスの音色を届けるため、可能な限り高音質な音源を提供している。

- 1) 放送日:2019年7月7日(日)、7月13日(土)(再放送)

「竹澤恭子&江口玲デュオ・リサイタル」

(王子ホール 2019年3月5日収録)

- 2) 放送日:2019年7月14日(土)、7月20日(土)(再放送)

「石坂団十郎チェロ・リサイタル」

(トッパンホール 2007年12月26日収録)

- 3) 放送日:2019年8月4日(日)、8月10日(土)(再放送)

「ザルツブルク・イースター音楽祭(Easter with Stradivarius)」

(ザルツブルク モーツァルテウム大ホール 2004年4月4日収録)

- 4) 放送日:2019年8月11日(日)、8月17日(土)(再放送)

・「ストラディヴァリウス・チェロ・コンサート」

(浜離宮朝日ホール 2004年4月22日収録)

・「スプリング・コンサート」

(浜離宮朝日ホール 2012年4月10日収録)

- 5) 放送日:2019年9月1日(日)、9月7日(土)(再放送)

「石坂団十郎&マルクス・シルマーデュオ・コンサート」

(トッパンホール 2010年2月19日収録)

- 6) 放送日:2019年9月8日(日)、9月14日(土)(再放送)

「オール・ストラディヴァリウス・コンサト」

- (東京オペラシティコンサートホール 1998年9月8日収録)
- 7) 放送日:2019年9月15日(日)、9月21日(土)(再放送)
「名古屋フィルハーモニー交響楽団・日本音楽財団
ストラディヴァリウス・シリーズ④⑤⑥」
(④日本特殊陶業市民会館フォレストホール 2019年1月10日収録
⑤愛知県芸術劇場コンサートホール 2019年2月22日、23日収録
⑥日本特殊陶業市民会館フォレストホール 2019年3月13日収録)
- 8) 放送日:2019年10月6日(日)、10月12日(土)(再放送)
「南紫音&竹澤恭子チャリティコンサート」
(福岡シンフォニーホール 2008年3月25日収録)
- 9) 放送日:2019年10月13日(日)、10月19日(土)(再放送)
・「庄司紗矢香&佐藤俊介デュオヴァイオリンコンサート」
(東京オペラシティコンサートホール 2007年9月10日収録)
・「Veronika Eberle ヴァイオリン・リサイタル」
(浜離宮朝日ホール 2013年7月17日収録)
- 10) 放送日:2019年11月3日(日)、11月9日(土)(再放送)
「エイジ・オブ・ストラディヴァリウス第1夜」
(東京オペラシティコンサートホール 2003年11月26日収録)
- 11) 放送日:2019年11月10日(日)、11月16日(土)(再放送)
「エイジ・オブ・ストラディヴァリウス第2夜」
(東京オペラシティコンサートホール 2003年11月27日収録)
- 12) 放送日:2019年12月1日(日)、12月7日(土)(再放送)
「エイジ・オブ・ストラディヴァリウス第3夜」
(東京芸術劇場 2003年11月28日収録)
- 13) 放送日:2019年12月8日(日)、12月14日(土)(再放送)
・「真夏の夜のトリオ・コンサート」
(浜離宮朝日ホール 2005年8月4日収録)
・「Kim Suyoen ヴァイオリン・リサイタル」
(浜離宮朝日ホール 2016年7月13日収録)
- 14) 放送日:2019年12月15日(日)、12月21日(土)(再放送)
「ストラディヴァリウス・コンサート2012」
(サントリーホール 2012年9月10日収録)
- 15) 放送日:2020年1月5日(日)、1月11日(土)(再放送)
「名古屋フィルハーモニー交響楽団・日本音楽財団
ストラディヴァリウス・シリーズ②」
(日本特殊陶業市民会館フォレストホール 2018年2月8日収録)
- 16) 放送日:2020年1月12日(日)、1月18日(土)(再放送)
・「Andrey Baranov ヴァイオリン・リサイタル」
(浜離宮朝日ホール 2015年4月15日収録)
・「Ji Young Lim ヴァイオリン・リサイタル」
(浜離宮朝日ホール 2015年11月10日収録)
- 17) 放送日:2020年2月2日(日)、2月8日(土)(再放送)
「Sergey Khachatryan ヴァイオリン・リサイタル」
(浦安音楽ホール 2019年4月20日収録)
- 18) 放送日:2020年2月9日(日)、2月15日(土)(再放送)

- ・「Arabella Miho Steinbacher ヴァイオリン・リサイタル」
(浜離宮朝日ホール 2010 年 4 月 26 日収録)
 - ・「サマーコンサート 2015」
(浜離宮朝日ホール 2015 年 7 月 9 日収録)
- 19) 放送日:2020 年 3 月 1 日(日)、3 月 7 日(土)(再放送)
- ・「Lisa Batiashvili ニューイヤー・コンサート」
(浜離宮朝日ホール 2004 年 1 月 27 日収録)
 - ・「スプリングコンサート」
(サントリーホール ブルーローズ(小ホール)2006 年 4 月 21 日収録)
- 20) 放送日:2020 年 3 月 8 日(日)、3 月 14 日(土)(再放送)
- ・「Lisa Batiashvili ヴァイオリン・リサイタル」
(浜離宮朝日ホール 2011 年 12 月 6 日収録)
 - ・「Benjamin Beilman ヴァイオリン・リサイタル」
(浜離宮朝日ホール 2017 年 6 月 21 日収録)
- 21) 放送日:2020 年 3 月 15 日(日)、3 月 21 日(土)(再放送)
- 「Enconter with Stradivari 2009」
(Helmut-List-Halle Graz 2009 年 11 月 5 日収録)
- ② 衛星デジタルテレビ クラシカ・ジャパン
再放送:2019 年 10 月 10 日(木)、11 日(金)、12 日(土)、14 日(月)、
15 日(火)、16 日(水)、17 日(木)、20 日(日)
「ストラディヴァリウス・コンサート 2016」
(サントリーホール 2016 年 9 月 13 日収録)
- (6) 音楽雑誌、新聞、その他マスメディアの取材要請、財団保有楽器の写真提供要請に応え、財団の活動の周知・広報を図っている。2019 年度における主な掲載記事等の内容は以下のとおり。
- ① The Strad Magazine Online 2019 年 5 月 27 日付
エリザベートコンクール優勝者 Ms Stella Chen へ財団楽器ストラディヴァリウス 1708「ハギンス」ヴァイオリンを 4 年間貸与
 - ② The Strad Magazine Online 2019 年 9 月 10 日付
Goldmund Quartet へ財団楽器ストラディヴァリウス「パガニーニ・クアルテット」を 4 年間貸与
 - ③ The Strad Magazine Online 2019 年 9 月 25 日付
Ms Camille Thomas へ財団楽器ストラディヴァリウス 1730 年製「フォイアマン」チェロを 1 年間貸与
 - ④ 音楽の友 2020 年 1 月号
「ストラディヴァリウス・コンサート 2019」の演奏会レビュー

III 総 務

1. 役員の変動

2019年9月25日開催の評議員会において石川礼子が理事に選任され、同日開催の第3回理事会において業務執行理事に選定、2019年10月1日付けで就任した。年度末現在の理事・監事・評議員の名簿は巻末別紙1のとおりである。

2. 理事会

本年度は、理事会を下記のとおり4回開催した。

2019年度第1回理事会

開催日	2019年6月6日(木)	11:30~12:30
場 所	六本木ヒルズクラブ(東京都港区六本木6-10-1)	
議決事項	第1号議案	2018(平成30)年度事業報告及び決算について
	第2号議案	諸規程の改正等について
	第3号議案	評議員会の招集について

2019年度第2回理事会(定款第34条に基づく決議の省略)

決議があったとみなされた日	2019年8月1日(木)
議決事項	第1号議案 臨時評議員会の招集について

2019年度第3回理事会

開催日	2019年9月25日(水)	13:30~14:10
場 所	六本木ヒルズクラブ(東京都港区六本木6-10-1)	
議決事項	第1号議案	業務執行理事の選定について
	第2号議案	評議員選任委員会運営規程の制定について

2019年度第4回理事会(定款第34条に基づく決議の省略)

※2020年3月6日に開催を予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を考慮し開催を中止し、決議の省略により決議した。

決議があったとみなされた日	2020年3月10日(火)	
議決事項	第1号議案	2020(令和2)年度事業計画及び収支予算について
	付帯決議案	事業計画の若干の字句の修正等は、会長に一任する
		収支予算の金額の若干の変更及び科目間の流用は会長に一任する
	第2号議案	評議員選任委員会委員の選任について
	第3号議案	定時評議員会の招集について
	追加議案	2019年度第2回臨時評議員会の開催形態の変更(決議の省略)について

3. 評議員会

本年度は、評議員会を下記のとおり3回開催した。

2019 年度定時評議員会

開催日 2019 年 6 月 25 日(火) 11:30~12:30
場 所 六本木ヒルズクラブ(東京都港区六本木 6-10-1)
議決事項 第 1 号議案 2018(平成 30)年度事業報告及び決算について

2019 年度臨時評議員会

開催日 2019 年 9 月 25 日(水) 11:30~12:10
場 所 六本木ヒルズクラブ(東京都港区六本木 6-10-1)
議決事項 第 1 号議案 定款の一部変更について
第 2 号議案 理事、監事及び評議員に対する報酬等支給基準の一部改正について
第 3 号議案 非常勤代表理事の報酬について
第 4 号議案 理事の選任について

2019 年度第 2 回臨時評議員会(定款第 20 条に基づく決議の省略)

※2020 年 3 月 6 日に開催を予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を考慮し開催を中止し、決議の省略により決議した。

決議があったとみなされた日 2020 年 3 月 17 日(火)

議決事項 第 1 号議案 2020(令和 2)年度事業計画及び収支予算について
付帯決議案

事業計画の若干の字句の修正等は、会長に一任する
収支予算の金額の若干の変更及び科目間の流用は会長に一任する

4. 監事会

2019 年 6 月 5 日 2018(平成 30)年度事業報告及び収支決算の監事監査

5. 登記事項

2019 年 10 月 7 日 理事の変更登記(1 名追加)

6. 主務大臣(内閣府)への届出等

2019 年 6 月 26 日 2018(平成 30)年度事業報告書及び収支決算書提出

2019 年 10 月 29 日 理事の登記事項変更届(追加 1 名)

2019 年 10 月 31 日 定款の一部変更届

理事・監事・評議員への報酬等支給基準の一部改正届

2020 年 3 月 26 日 2020(令和 2)年度事業計画書及び収支予算書届

7. 内閣府公益認定等委員会の立入検査

2020 年 1 月 10 日に 2017(平成 29)年度から 2018(平成 30)年度を対象に実施された。

8. 外部監査の実施

本年度も永和監査法人に監査を委託し、期中監査を 2020 年 3 月 17 日に、期末監査を 2020 年 4 月 27 日、5 月 27 日、28 日に実施した。

9. 広報活動

「ランチタイムコンサート」の開催

これまで日本財団が開催していた日本財団ビルパウルームでの「ランチタイムコンサート」を2019年10月より当財団が引き継ぎ、音楽文化の振興と普及のため、プロを目指す若手演奏家の発表の場として、また、来場者には気軽に音楽に親しむ機会を提供し、ランチタイムコンサートを通して当財団の事業を多くの人々に知ってもらう広報活動の一環として実施した。9公演で約1,100名が来場した。

出演者は一般公募し、書類及び動画審査により決定した。

日 程 毎月第2、第4水曜日 12:10～12:50
場 所 日本財団パウルーム
(東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル1階ロビー)

- ① 2019年10月9日(水) 来場者数163名
「ヴァイオリンとピアノの美しき調べ～デュオコンサート」
山田香子(ヴァイオリン) 白河俊平(ピアノ)
- ② 2019年10月23日(水) 来場者数101名
「一度は耳にしたことのある名曲マリンバコンサート」
佐藤大希(マリンバ) 佐藤美玖(マリンバ)
- ③ 2019年11月13日(水) 来場者数100名
「Flute Trio Cortiare ランチタイムコンサート」
Flute Trio Cortiare
橋本奈津希 星野美波 渡邊麻美(フルート)
- ④ 2019年11月27日(水) 来場者数141名
「フランス音楽の調べ」
竹本百合子(ヴァイオリン) 高木美来(ピアノ)
- ⑤ 2019年12月11日(水) 来場者数115名
「Trio Del Arte ランチタイムコンサート」
Trio Del Arte
久保山菜摘(ピアノ) 内野佑佳子(ヴァイオリン) 河野明敏(チェロ)
- ⑥ 2019年12月25日(水) 来場者数115名
「Tetsu Suzuki & Ayataro Ishikawa Jazz Live」
鈴木哲(テナーサックス) 石川綾太郎(ピアノ)
- ⑦ 2020年1月8日(水) 来場者数80名
「箏・二十五絃箏 ソロコンサート」
金子展寛(箏)
- ⑧ 2020年1月22日(水) 来場者数130名
「YEAHQuartet～弦楽四重奏の愉しみ～」
YEAHQuartet
萩原安里紗(ヴァイオリン) 栗林衣李(ヴァイオリン)
桂田光理(ヴィオラ) 梶原葉子(チェロ)
- ⑨ 2020年2月12日(水) 来場者数140名
「フランス音楽の風」
齋藤碧(ヴァイオリン) 尾城杏奈(ピアノ)

※以下に予定していたランチタイムコンサートは、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を考慮し、開催を中止した。

2020年2月26日(水)

2020年3月11日(水)

2020年3月25日(水)

10. 事務局

事務所を東京都港区赤坂 1-2-2 日本財団ビル 5 階に置き、業務を遂行した。

年度末現在の事務局役職員数は常勤役員 2 名、常勤職員 5 名、臨時雇人 1 名計 8 名である。

以上

別紙 1

公益財団法人日本音楽財団理事・監事・評議員名簿

(2020年3月31日現在、敬称略)

会 長	海老沢 勝二	(代表理事)
常務理事	加納 民夫	常勤 (業務執行理事)
理 事	石川 礼子	常勤 (業務執行理事)
理 事	海老澤 敏	尚美学園大学大学院名誉教授
理 事	門 野 泉	(公財)東京財団理事長、清泉女子大学名誉教授
理 事	斉藤 邦彦	元駐アメリカ合衆国特命全権大使
理 事	竹内 千春	弁護士
理 事	福井 俊彦	元日本銀行総裁 (一財)キャノングローバル戦略研究所理事長
監 事	垣 見 隆	弁護士
監 事	吉村 貞彦	公認会計士
評議員	相川 直樹	慶應義塾大学名誉教授
評議員	荒蒔 康一郎	元キリンホールディングス(株)会長
評議員	尾形 武寿	(公財)日本財団理事長
評議員	木 全 ミツ	認定 NPO 法人 JKSK 女性の活力を社会の活力に 前会長・理事長
評議員	清原 武彦	産経新聞社特別顧問
評議員	児玉 幸治	(一財)機械システム振興協会顧問
評議員	須磨 久善	心臓外科医
評議員	畠山 向子	(公財)畠山記念館館長
評議員	藤井 宏昭	国際交流基金顧問、森アーツセンター理事長

委員名簿

(2020年3月31日現在、敬称略)

楽器貸与委員 (欧州・米国・アジアの代表で構成)

委員長	原田 幸一郎	ヴァイオリニスト、桐朋学園大学教授、 東京音楽大学特任教授
委員長代行	イヴァン・デ・ラオノア Yvan de Launoit	ベルギー・エリザベート王妃国際音楽コンクール 副理事長
委員	池辺 晋一郎	作曲家
委員	アイダ・カヴァフィアン Ida Kavafian	ヴァイオリニスト、ジュリアード音楽院教授、 カーティス音楽院教授
委員	キム・カシュカシャン Kim Kashkashian	ヴィオリスト、ニューイングランド音楽院教授
委員	クライブ・ギリンソン Clive Gillinson	カーネギーホール総支配人兼音楽監督
委員	ジョナサン・ノット Jonathan Nott	指揮者
委員	藤原 真理	チェリスト

事業運営委員

委員長	川本 統脩	洗足学園音楽大学講師
委員	小倉 多美子	音楽ジャーナリスト、武蔵野音楽大学講師
委員	金子 建志	音楽評論家、東京理科大学講師
委員	齋藤 一郎	東京藝術大学名誉教授
委員	柴田 俊一	音楽プロデューサー、元NHKプロデューサー
委員	藤掛 廣幸	作曲家

財団保有楽器の概要

(2020年3月31日現在)

Stradivarius "Paganini Quartet" 「パガニーニ・クアルテット」

1680年製 Violin 1727年製 Violin
1731年製 Viola 1736年製 Cello

アントニオ・ストラディヴァリ(1644～1737)製作による楽器で構成されたクアルテットは、世界で6セットの存在が知られている。このクアルテットはその1つであり、19世紀の伝説的なヴァイオリニスト、ニコロ・パガニーニ(1782～1840)が所有していたことでも有名である。

当財団は1994年4月にアメリカ・ワシントン D.C.のコーコラン美術館よりこのクアルテットを購入した。同美術館にこのクアルテットを寄贈した米国のアンナ・E・クラーク夫人の意思を受け継ぎ、当財団は4挺を常にセットとして四重奏団に貸与している。

Stradivarius 1700年製 Violin "Dragonetti" 「ドラゴネッティ」

このヴァイオリンはネックの部分までも製作当時のものが使用されているとても貴重な楽器である。著名なコントラバス奏者ドメニコ・ドラゴネッティ(1763～1846)によって大切に所有されていたことから現在この名前と呼ばれている。当財団の購入直前には、世界的に名の知られているヴァイオリン奏者、フランク・ペーター・ツィンマーマン(1965～)によって演奏されていた。

2002年6月に当財団が購入したものである。

Stradivarius 1702年製 Violin "Lord Newlands" 「ロード・ニューランズ」

イギリスのニューランズ卿(1890～1929)によって生涯大切にされていたため、現在この名前と呼ばれている。1964年から1982年にこの楽器を保管していたロンドンのヒル商会が、1973年にバースの古楽器名器展にて、当時のヒル商会を代表する楽器としてこのヴァイオリンを展示していた。楽器の保存状態が優れているだけでなく、その音質の良さでも知られており、以前このヴァイオリンを演奏したアイザック・スターン(1920～2001)は、自身が所有しているガエルネリ・デル・ジェスと同じパワーを感じると語ったという。

2002年6月に当財団が購入したものである。

Stradivarius 1708年製 Violin "Huggins" 「ハギンス」

このヴァイオリンは、イギリスの天文学者であるウィリアム・ハギンス卿(1824～1910)が、1870年代後半頃、ウィーンの皇帝から購入し、所有していたことから「ハギンス」と呼ばれている。色艶も鮮やかで保存状態に優れている。当財団は1997年よりベルギ

ー・エリザベート王妃国際音楽コンクール・ヴァイオリン部門優勝者に副賞として次のコンクールまでこの楽器を貸与し、コンクールの発展と演奏家の技術向上に寄与している。

1995年3月に当財団が購入したものである。

Stradivarius 1709年製 Violin "Engleman" 「エングルマン」

このヴァイオリンは、アメリカ海軍士官ヤング中佐が第二次世界大戦中に戦死するまで、約150年間ヤング家に大切に保管されていたため、保存状態が優れている。当財団が保有する以前は、アメリカのアマチュア・ヴァイオリン奏者で収集家のエフレイム・エングルマンが所有していたため、現在はこの名前で親しまれている。

1996年5月に当財団が購入したものである。

Stradivarius 1710年製 Violin "Camposelice" 「カンポセリーチェ」

このヴァイオリンは、1880年代にフランスのカンポセリーチェ公爵の手に渡ったことから「カンポセリーチェ」と呼ばれている。1937年にはクレモナ古楽器名器展にキューネ博士のコレクションとして展示された。日本音楽財団が購入する前は、30年間以上ベルギーのアマチュア奏者のもとで大切に保管されていたため、楽器の内側の状態はオリジナルのままである。

2004年9月に当財団が購入したものである。

Stradivarius 1714年製 Violin "Dolphin" 「ドルフィン」

1800年代後半にこの楽器を所有していたジョージ・ハートは、光沢の美しい裏板のニスが優美な"イルカ"を思わせることから「ドルフィン」という名前を付けた。音色並びに楽器の保存状態が優れており、1715年製「アラード」、1716年製「メシア」に並ぶ世界3大ストラディヴァリウスの1つと呼ばれている。また、巨匠ヤッシャ・ハイフェッツ(1901～1987)が愛用していたことでも知られている。

2000年2月に当財団が購入したものである。

Stradivarius 1715年製 Violin "Joachim" 「ヨアヒム」

この楽器は、有名なハンガリーのヴァイオリン奏者、ヨーゼフ・ヨアヒム(1831～1907)が所有していたストラディヴァリウス1715年製ヴァイオリン5挺の内のひとつである。また、ヨアヒムからヴァイオリンのレッスンを受けていた彼の兄弟の孫娘アディラ・アラニに遺贈されたことから「ヨアヒム=アラニ」という名前でも知られている。日本音楽財団が購入するまでは、アラニ家によって代々受け継がれてきた。

2000年9月に当財団が購入したものである。

Stradivarius 1716年製 Violin "Booth" 「ブース」

1855 年頃にイギリスのブース夫人が所有していたため、現在の名が付けられている。彼女はヴァイオリンの才能を発揮した 2 人の息子たちのためにストラディヴァリウスのクアルテットを形成しようと試み、この楽器を購入した。1931 年にアメリカの名高いヴァイオリン奏者ミシャ・ミシャコフ(1896～1981)の手にわたり、1961 年にはニューヨークのホットインガー・コレクションの一部となった。音色の美しさ、音の力強さにおいて知名度が高く、保存状態も優れている。

1999 年 1 月に当財団が購入したものである。

Stradivarius 1717 年製 Violin "Sasserno" 「サセルノ」

1845 年からフランスのサセルノ伯爵が所有していたことからこの名前と呼ばれている。1894 年にはヴァイオリン奏者のオットー・ペイニガーが所有し、その後にイギリスで有名な醸造所を所有していたピカリング・フィップスの手に渡った。1906 年にはイギリスの産業資本家ヘンリー・サマーズが所有し、それ以後 90 年以上にわたり同家で大切に保管されていたため、製作時のままのニスが多く残っており保存状態が非常に優れている。

1999 年 5 月に当財団が購入したものである。

Stradivarius 1722 年製 Violin "Jupiter" 「ジュピター」

このヴァイオリンは、1800 年頃にイギリスの偉大なコレクター、ジェームス・ゴディングによって「ジュピター」と名付けられたといわれている。この楽器は大切に使用されてきたため保存状態が素晴らしく、オリジナル・ニスも全体に十分残っている。

1998 年 5 月に当財団が購入したものである。

Stradivarius 1725 年製 Violin "Wilhelmj" 「ウィルヘルミ」

1866 年以降、約 30 年間この楽器を所有していた著名なドイツのヴァイオリン奏者、オウグスト・ウィルヘルミ(1845～1908)に因んでこの名前が付けられた。ウィルヘルミの所有していた数多くのヴァイオリンのうち最も愛用されていた楽器だったが、「演奏者として華のあるうちに引退したい」との理由で、50 代の若さで楽器を手放したという。

2001 年 6 月に当財団が購入したものである。

Stradivarius 1735 年製 Violin "Samazeuilh" 「サマズィユ」

このヴァイオリンは、20 世紀の初めにフランスのサマズィユ家が所有していたことから「サマズィユ」と呼ばれている。その後、1923 年に楽器を所有することになったヴァイオリンの巨匠ミッシェル・エルマン(1891～1967)は「ストラディヴァリウスの中で最高の音色を持つ楽器の 1 つ」と 1926 年に手紙に記している。楽器内側に貼られたラベルには 91 歳(製作者の年齢)と書かれている。

岡本ご夫妻のご寄付と日本財団からの助成を合せて、2017年8月に当財団が購入したものである。

Stradivarius 1736年製 Violin "Muntz" 「ムンツ」

楽器内側に貼られたラベルにはストラディヴァリ本人の手書きで「d'anni 92(92歳)」と書かれている珍しい楽器である。透明な黄褐色のニスに楽器のほぼ全体に綺麗に残っており、楽器の保存状態も音色も格段に優れている。1874年以降、英国の収集家ムンツが所有していたため、「ムンツ」と呼ばれている。1737年に死去したストラディヴァリが、最晩年に製作した楽器のひとつとして知られている。

1997年7月に当財団が購入したものである。

Stradivarius 1696年製 Cello "Lord Aylesford" 「ロード・アイレスフォード」

アマチュア奏者として有名であったイギリスのアイレスフォード卿が1780年代初期にイタリアの名高いヴァイオリン奏者フェリーチェ・デ・ジャルディーニ(1716～1796)から購入し、その後アイレスフォード家に約100年間所有されていたことからこの名前が付けられた。1946年にはアメリカ・フィラデルフィア在住の世界的に著名なチェロ奏者グレゴール・ピアティゴルスキー(1903～1976)の手に渡り、1950年から1965年には巨匠ヤーノシュ・シュタルケル(1924～2013)によって演奏会や35枚のレコーディングのために使用された。

2003年6月に当財団が購入したものである。

Stradivarius 1730年製 Cello "Feuermann" 「フォイアマン」

アントニオ・ストラディヴァリが製作したうち、現存するチェロは、約50挺といわれている。「フォイアマン」は普通のチェロと比べ、楽器本体の部分が細長い点の特徴である。1934年から世界的に著名なチェロ奏者、エマヌエル・フォイアマン(1902～1942)が長年にわたり演奏活動に使用したことから、この名前と呼ばれている。エマヌエル・フォイアマンは斎藤秀雄が師事したこともあり、日本でもよく知られている。

1996年12月に当財団が購入したものである。

Guarneri del Gesu 1736年製 Violin "Muntz" 「ムンツ」

アントニオ・ストラディヴァリと並び称される名工、バルトロメオ・ジュゼッペ・グアルネリ(グアルネリ・デル・ジェス)(1698～1744)が製作したヴァイオリン。イギリスの収集家ムンツが一時期所有していたことから、この名前が親しまれている。当財団はストラディヴァリとデル・ジェスによって同じ1736年に製作された2挺の「ムンツ」を保有しており、それぞれの楽器の音色の特色を聴き比べるために、両方の楽器を使用したコンサートを開催している。

1995年3月に当財団が購入したものである。

Guarneri del Gesu 1740 年製 Violin "Ysaye" 「イザイ」

この楽器はベルギーの国家的ヴァイオリン奏者、ウジェーヌ・イザイ(1858～1931)が所有していたことからこの名前が付けられた。楽器の中には小さなラベルが貼られ、赤いインクで「このデル・ジェスは私の生涯を通じて忠実なパートナーだった。イザイ 1928」とフランス語で書かれている。イザイの国葬の際には棺の前をクッションに載せられ行進した名器としても知られている。その後、1965 年に巨匠アイザック・スターン(1920～2001)の所有となり愛用された。1998 年 3 月に当財団がスターンから購入した。

以上、当財団はストラディヴァリウス・ヴァイオリン 15 挺、ストラディヴァリウス・チェロ 3 挺、ストラディヴァリウス・ヴィオラ 1 挺、グアルネリ・デル・ジェス・ヴァイオリン 2 挺の合計 21 挺の弦楽器を保有している。

楽器名と被貸与者一覧

別紙 4

2020年3月31日現在

楽器名	被貸与者	備考
貸与区分A(貸与期間満7年以内), B(貸与期間満3年以内)、貸与期間1年以上(旧長期貸与)		
	Stradivarius "Paganini Quartet"	Goldmund Quartet
1	1680年製 Violin "Paganini"	Pinchas Adt (Mr) ミュンヘン在住 貸与区分A
2	1727年製 Violin "Paganini"	Florian Schötz (Mr) グェルツブルク(ドイツ)在住 貸与区分A
3	1731年製 Viola "Paganini"	Christoph Vandory (Mr) ミュンヘン在住 貸与区分A
4	1736年製 Cello "Paganini"	Raphael Paratore (Mr) ミュンヘン在住 貸与区分A
5	Stradivarius 1700年製 Violin "Dragonetti"	Veronika Eberle (Ms) ベルリン在住
6	Stradivarius 1702年製 Violin "Lord Newlands"	Suyoen Kim (Ms) ベルリン在住
7	Stradivarius 1709年製 Violin "Engleman"	Benjamin Beilman (Mr) ニューヨーク在住
8	Stradivarius 1710年製 Violin "Camposelice"	Svetlin Roussev (Mr) ジュネーブ在住 2012/1/15よりJoachim貸与 2012/2/8 よりCamposelice貸与
9	Stradivarius 1714年製 Violin "Dolphin"	諏訪内晶子 (Ms) パリ在住
10	Stradivarius 1715年製 Violin "Joachim"	Angelo Xiang Yu (Mr) ボストン在住 貸与区分A
11	Stradivarius 1716年製 Violin "Booth"	Arabella Miho Steinbacher (Ms) ウィーン在住 2005/5/6よりStrad. Muntz貸与 2006/9/4よりBooth貸与
12	Stradivarius 1717年製 Violin "Sasserno"	Ji Young Lim (Ms) ベルリン在住 2015年エリザベートコンクール優勝者Huggins貸与 (2015/6/2-2019/3/28) 2019/3/28よりSasserno貸与
13	Stradivarius 1722年製 Violin "Jupiter"	五嶋 龍 (Mr) ニューヨーク在住
14	Stradivarius 1735年製 Violin "Samazeuilh"	Ray Chen (Mr) フライデルフィア在住 2009年エリザベートコンクール優勝者Huggins貸与 (2009/6/2-2010/9/8) 2012/4/11よりLord Newlands貸与 2014/6/19よりJoachim貸与 2019/10/23よりSamazeuilh貸与
15	Stradivarius 1736年製 Violin "Muntz"	Yuki Manuela Janke (Ms) ハゼルパッハタール(ドイツ) 在住
16	Stradivarius 1696年製 Cello "Lord Aylesford"	Pablo Ferrández (Mr) トレトネス(スペイン) 在住
17	Guarneri del Gesu 1740年製 Violin "Ysaye"	Sergey Khachatryan (Mr) エッショホルン(ドイツ) 在住 2005年エリザベートコンクール優勝者Huggins貸与 2009/4/7よりLord Newlands貸与 2010/10/27よりYsaye貸与
貸与区分C (貸与期間満1年以内)		
18	Stradivarius 1725年製 Violin "Wilhelmj"	大谷康子 (Ms) 東京在住 45周年記念コンサートツアーのため
19	Stradivarius 1730年製 Cello "Feuermann"	Camille Thomas (Ms) パリ在住 CD録音・演奏会のため
20	Guarneri del Gesu 1736年製 Violin "Muntz"	María Dueñas (Ms) ウィーン在住 デビューコンサートツアーのため
貸与区分D(ベルギー・エリザベート王妃国際音楽コンクール優勝者への次期コンクール開催までの貸与)		
21	Stradivarius 1708年製 Violin "Huggins"	Stella Chen (Ms) ニューヨーク在住 2019年エリザベートコンクール優勝者

長期: 区分AB 17挺、短期: 区分C 3挺、コンクール: 区分D 1挺 現在保有楽器 計21挺

上記のとおり2019年度事業報告書及び附属明細書を提出いたします。

2020(令和2)年6月3日

公益財団法人 日本音楽財団

会 長 海 老 沢 勝 二

①

2019年度事業報告書及び附属明細書を監査した結果、適正かつ妥当であると認めます。

2020(令和2)年6月3日

監 事 垣 見 隆

①

監 事 吉 村 貞 彦

①